

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース											
オリジナル作品制作 4											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	田熊知存			実務経験	有	職種	作編曲家				
担当教員紹介											
幼少の頃からエレクトーン・Jazzピアノを習い、コンクールで優秀な成績を収める。 様々なアーティストのサポート演奏や楽曲提供を手がけており、幼い頃に影響を受けたDisney音楽のような歌心がありファンタジックな曲の制作を得意とする。											
授業概要											
聴音のレッスンと既存楽曲のコード進行の解説を行う。 アナライズ能力を高めることにより自身の楽曲のクオリティの向上を狙う。											
到達目標											
各々の音楽活動内容に合わせた楽曲を制作できるようにすることを目標とする。 卒業時までには可能な限りの曲数を制作し、また多くのスタイル（パターン）の楽曲を完成させることを目指す。 コラボレーション作業によりコミュニケーション能力の向上を身に付け、チームプレイの大きな利点でもある完成度の高い作品を輩出できるようにすることを目標とする。											
授業方法											
聴音から授業をスタートして、聴いた音を音程として言語化できるようにする。 聴音終了後、既存曲のコードの解説を行う。（コードネーム、ディグリー、機能などについて） 実習として学生自身でまずは耳コピを行うこととする。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
楽曲制作をする上でのオーダー力とオーダーを受け取る側のイメージネーション能力が非常に重要となってくる。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	テンションの聴音 1										
第2回	テンションの聴音 2										
第3回	ドミナントコードに対するテンションの機能 1										
第4回	ドミナントコードに対するテンションの機能 2										
第5回	ドミナントコードに対するテンションの機能 3										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース	
オリジナル作品制作 4	
第6回	オンコードについて 1
第7回	オンコードについて 2
第8回	オンコードについて 3
第9回	モードについて 1
第10回	モードについて 2
第11回	モードについて 3
第12回	ジャズ楽曲のコード進行について 1
第13回	ジャズ楽曲のコード進行について 2
第14回	これまでに学んだ知識で指定された楽曲の聴音を行う 1
第15回	これまでに学んだ知識で指定された楽曲の聴音を行う 2